

令和元年度さっぽろ子ども食品Gメン体験事業

「札幌市 食の安全・安心バスツアー “子ども食品Gメン” 体験（第1回・第2回）」体験レポート



会 場：札幌市中央卸売市場

実施日時：第1回令和元年 7月30日（火） 6:30 ～ 11:20

第2回令和元年 8月8日（木） 6:30 ～ 11:20

小学生が 食品衛生監視員（通称“食品Gメン”）のお仕事を体験して、親子で「食の安全」について学ぶ “子ども食品Gメン体験” 事業が7月30日（火）と8月8日（木）に行われました。小学3年生から6年生までの親子15組の募集に対し、第1回は13組（欠席2組）、第2回は14組（欠席1組）が参加されました。

午前6時30分、集合場所の札幌市保健所で出発式を行い、会場となる札幌市中央卸売市場へ向けバスで出発。到着後、しろくま忍者のお出迎えて、まずはオリエンテーション。現役食品Gメンから 食の安全を守るお仕事について、また中央卸売市場協会より市場のお仕事について説明を受け、参加者一同、市場見学に出発。

市場では青果棟で活気あふれるセリ場の様子を見学し肌で体感しました。続いて、展示室では市場の仕組みや食の安全、セリの方法について楽しく学びました。

その後、水産棟1階へ降り、場内を見学しながら放射温度計やサーモグラフィを使った測定実習を行いました。

会議室へ戻った後、質疑応答ではたくさんの質問が出ました。



オリエンテーションでは、しろくま忍者もお出迎え。



中央卸売市場でのお仕事についてのDVDを鑑賞。



まずは青果棟から市場見学がスタート。



実際のセリが行われており、活気のある様子を見学することができました。



市場協会の方のユーモアあふれる貴重なお話に、一同楽しく耳を傾けます。



水産棟では放射温度計やサーモグラフィを使った温度測定の実習を行いました。



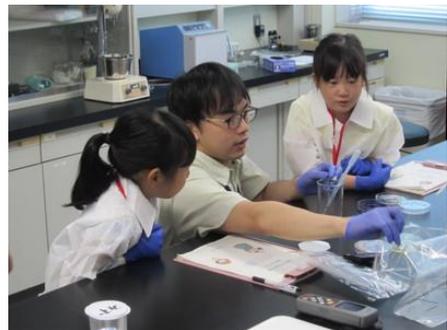
質疑応答ではたくさんの質問が出て、職員の方が丁寧に答えてくださいました。

休憩をはさんで、プログラムは後半の検査室へ。2組に分かれ実際の検査を体験しました。検査室に入り、業務で実際に使用する検査機器や細菌・理化学検査の仕組みについて説明を受けました。

細菌検査の体験として、乳酸菌の染色を体験しました。次に、ATP測定器（ルミテスター）を使った汚れの測定です。綿棒でこすって測定器に入れると、汚れが数値で表示されます。スマートフォンや手についた汚れ、検査室内の汚れのありそうなところを探し回って、いろいろな結果を楽しんでいました。自分の手に付着した汚れの度合いを示す桁外れの数値に参加者たちも驚きを隠せない様子でした。

続いて、食品添加物（着色料）の検査を体験し、手洗いチェッカーを使用して、目には見えない手の汚れをチェックし、手洗い後も汚れが残りやすい部分や正しい手洗い方法について学びました。プログラムの終盤では、今日の体験を振り返る「食の安全〇×クイズ」を開催。みんなが高い正解率で、学習の成果が伺えました。

最後に、しろくま忍者より「食の安全・安心マスター修了証」が参加児童へ授与されました。参加者たちからは「楽しかった」「いろいろな事がわかった」との声が多く聞かれました。



プログラムの後半は、もうひとつのメインである検査室での検査体験です。



手洗いチェッカーにみんなびっくり。



正しい手洗いを教えてもらいました。



〇×クイズでは本日の学習をおさらい。



しろくま忍者から、優秀な参加者全員に「食の安全・安心マスター修了証」が授与されました。みなさんお疲れ様でした！

